

1月7日 | 鬼と災いを追い払う

千葉山智満寺で、正月を締めくくる伝統行事「鬼払い」が行われました。儀式では、暗闇から現れて堂内を暴れ回る鬼を読経によって退治し、1年の無病息災を願います。

人の煩悩を現す「青・赤・白」の鬼が力尽き、境内に投げ捨てる松明の燃えさしは「魔除け」とされることから、訪れた多くの参拝客が熱心に拾い上げる姿も見られました。



1月17日 | 札を目がけてよーいドン

相賀小学校で、児童41人が参加して「ジャンボカルタ大会」が催されました。

子どもたちがアイデアを出し合った手作りカルタには、学校や地域に関する絵が描かれています。詠み手の声に耳を傾けていた子どもたちは、読み上げが終わると、自分の体ほどの大きな札に勢いよくジャンプ。会場は、冬の寒さを感じさせない、温かな雰囲気に包まれました。

1月10日 | 大人としての決意新たに

成人の日を前に、ローズアリーナで成人式が開かれました。色とりどりの振り袖や袴などで飾った700人を超える新成人たちは、大人としての第一歩を踏み出しました。

式では、宮崎将維さんと大橋友里子さんが新成人の言葉を発表。アトラクションでは、昨年に引き続き樋崎晴也さん（初倉中3年）が、情熱的な三味線演奏で花を添えてくれました。





1月12日 | 宿場を精巧に再現

島田工業高校建築科の3年生7人によって作られた「島田宿大井川川越遺跡」のジオラマ模型が、市役所ロビーに展示されました。

生徒たちは4月から資料を集め、放課後や夏休みなどをを利用して製作に没頭。建物の外観だけでなく、内部に至るまで精巧に再現し、河原の人足や旅人、大井川の流れなど、宿場の臨場感を細部まで再現した模型が完成しました。

1月10日 | 20年後のわが子と帯桜

中央公園園で島田市生まれの「帯桜」の記念植樹が行われました。

植樹は、新市誕生10周年記念事業実行委員会の提案で実現。参加した平成27年度に生まれた子の保護者は「この子が20歳を迎えたとき、たくさんの帯桜に祝福されていることを期待します」と、生まれたばかりのわが子の健やかな成長と重ねていました。



1月24日 | まちの文化を守り抜く

大井川川越遺跡「川会所」で、自主防災会・消防団・消防署が参加し消火訓練を行いました。

これは、昭和24年に発生した法隆寺の壁画を焼失する火災を受け定められた「文化財防火デー」に合わせて実施したもので、市でも毎年各地の文化財に出向いて訓練を行っています。

参加者は、かけがえのない文化財を守るため、連携して放水などの手順を確認しました。